

平成 年 月 日

低入札価格調査資料届出書

名張市長 様

住所又は所在地

商号又は名称

代表者職氏名

印

下記工事の低入札価格調査に係る資料を提出します。

なお、下記に記載した事項及び、添付資料等の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

記

発注番号	
工事番号	
件名	
場所	

【提出書類】

様式 1	当該価格で入札した理由
様式 2	下請予定業者の状況
様式 3	契約対象工事付近における手持ち工事の状況
様式 4	契約対象工事に関する手持ち工事の状況
様式 5	契約対象工事箇所と入札者の事務所、倉庫等との関連
様式 6	手持ち資材の状況
様式 7	資材購入先及び購入先と入札者との関係
様式 8	手持ち機械数の状況
様式 9	労務者の具体的供給見通し
様式 10	過去に施工した公共工事名及び発注者名

担当者氏名	
電話番号	

様式1

当該価格で入札した理由

工事の名称
理 由

(注) 1. 当該価格で入札した理由を、資材費、労務費、手持ち工事の状況、当該工事現場と事務所・倉庫との関係、手持ち資材の状況、手持ち機械の状況、下請業者等の協力等の面から記載する。

下請予定業者の状況

会社名	住所	建設業の許可		工事内容	下請金額(円)
		建設業種	許可番号		

- (注) 1. 一次下請負予定業者について記入すること。
 2. 見積もり書等がある場合は、添付すること。
 3. 一次下請負予定業者が無い場合は、「該当無し」と記入すること。
 4. 施工体系図を添付すること。

契約対象工事付近における手持ち工事の状況

工事名(工事箇所)	発注者	工期	請負金額(円)	備考

- (注) 1. 本様式には対象工事現場付近(半径10km程度)での手持ち工事の件名を記入すること。
 2. 対象工事の位置及び手持ち工事の位置関係が解かる図面(図面縮尺は自由)を添付すること。
 3. 添付する図面には工事名を記入すること。
 4. 対象の手持ち工事がない場合は、「該当無し」と記入すること。

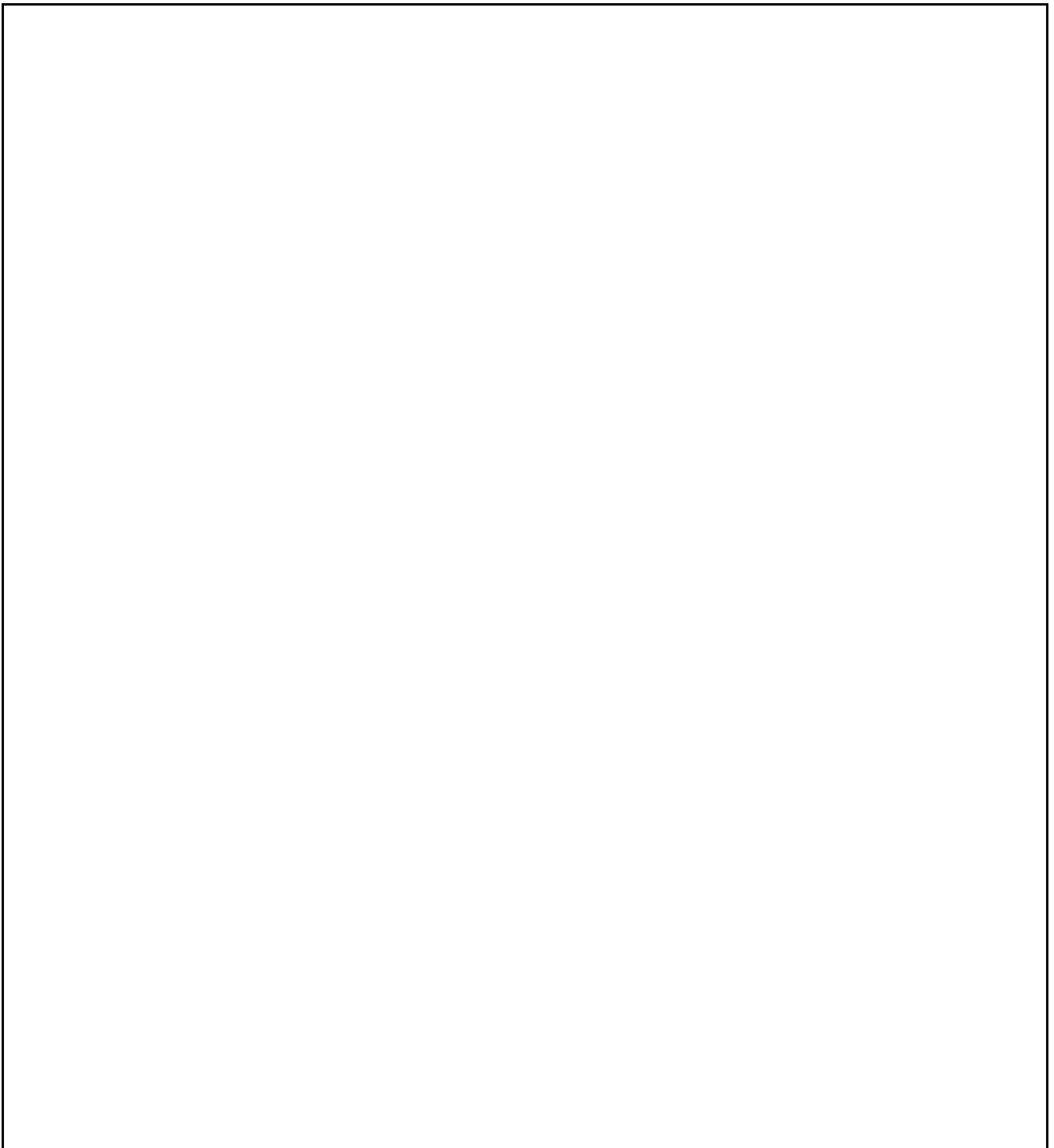
契約対象工事に関する手持ち工事の状況

工事名(工事箇所)	発注者	工期	請負金額(円)	備考

(注) 1. 本様式には、対象工事の同種又は同類の手持ち工事名を記入すること。

2. 対象の手持ち工事がない場合は、「該当無し」と記入すること。

契約対象工事箇所と入札者の事務所、倉庫等との関連



- (注) 1. 分かりやすい地図で契約対象工事箇所と入札者の事務所、倉庫等との関係が明確になるように記入する。また、所在地も明らかにする。
2. 縮尺は問わない。

手持ち資材の状況

使用予定資材	規格・形式	単位	手持ち数量	本工事での 使用予定量	不足数量の 手当方法

(注) 1. 手持ち資材の状況については、主に当該工事で使用予定の資材を記入する。
2. 対象の手持ち資材が無い場合は、「該当無し」と記入すること。

資材購入先及び購入先と入札者との関係

工種別	品質・規格	単位	数量	購入先名		
				業者名	所在地	入札者との関係

(注) 1. 「入札者との関係」欄には購入先予定業者との関係及び取引年数があれば記入すること。

(例) 協力会社、同族会社、資本提携会社等

手持ち機械数の状況

機械の名称	規格・型式・能力・年式	数量	メーカー名	現在の利用状況

(注) 1.主に当該工事に使用する予定の手持ち機械の状況を記入すること。
2.対象の手持ち機械対が無い場合は、「該当無し」と記入すること。

労務者の具体的供給見通し

工 種	職 種	単 価(円)	員 数	下請会社との関係 下請会社名等

- (注) 1. 「員数」欄には、自社労務者と下請け労務者と区分して記入すること。
2. 「下請会社との関係下請会社名等」欄には、下請会社名及び下請会社との関係も明記すること。
3. 「単価」欄には、単価を記入すること。

過去に施工した公共工事名及び発注者名

発注年度	発注者	工事名	工期	請負金額(円)	備考

- (注) 1. 過去5ヶ年に施工した工事金額500万円以上の公共工事について記載すること。
2. 低入札の実績の案件には、「備考」欄に 印を記入すること。
3. 各工事の工事成績状況が確認できる工事成績評定書等を添付すること。